

南京町沿道景観形成地区 景観形成の手引き

この冊子は当地区で計画される建築物等に対して、景観形成にかかる配慮事項をまとめたものです



問い合わせ先：神戸南京町景観形成協議会
〒650-0023 神戸市中央区栄町通1-3-18
TEL078-332-2896 FAX078-332-2897

神戸南京町景観形成協議会

私達のまち南京町は、神戸港の開港にともなって中国系在留民の居住地として形成され、古くから中国雑貨・飲食店・食料品店などが軒を連ね、異国情緒あふれる品々の並ぶ個性的な商店街として発展してきました。

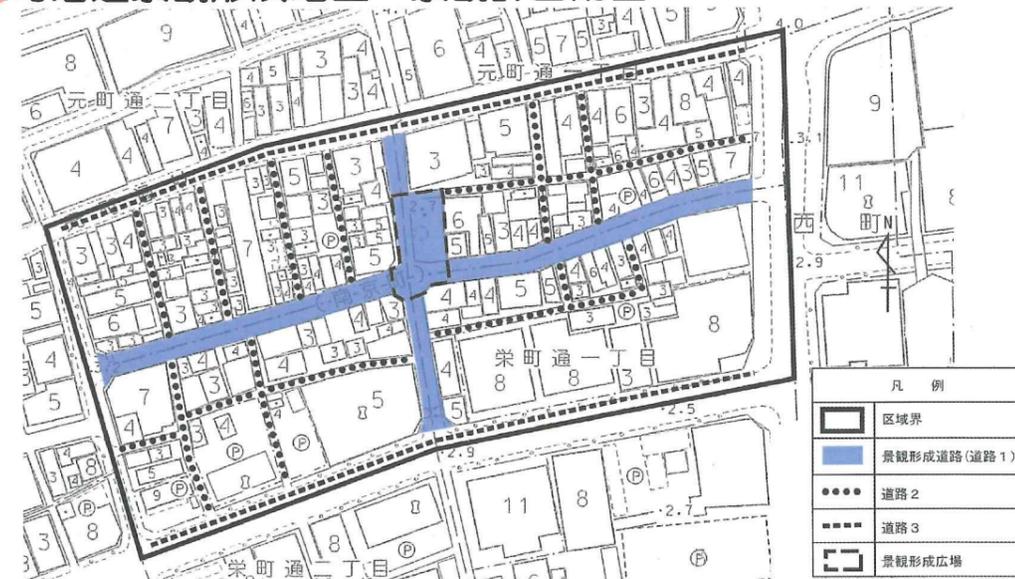
平成2年、神戸のシンボルにふさわしい景観形成を図るため、神戸市都市景観条例に基づく南京町沿道景観形成地区の指定を受けるとともに、翌年7月、景観形成市民団体として神戸南京町景観形成協議会が認定され、市当局をはじめ関係機関の支援のもと、街路・広場の整備や楼門・あずまやの建設等さまざまな環境整備事業に取り組んできました。

その結果、異国情緒豊かな飲食店などの増加や春節祭の龍踊りが全国的に有名になるなど、横浜・長崎と並ぶ日本の三大中華街の一つとして、再び商店街の賑わいが戻ってきました。平成7年の震災後は、いち早く「まちづくり計画」を策定し、市や関係機関と協働して、さまざまな復興への取り組みを続けてきました。また、平成18年には、景観法に基づく景観計画区域に指定されました。

この冊子は、当地区で新たに計画される建築物等に対して、まちづくりの方針やルールをご理解いただき、景観形成に寄与するものとなるよう、計画をする上で配慮すべき事項をまとめたものです。

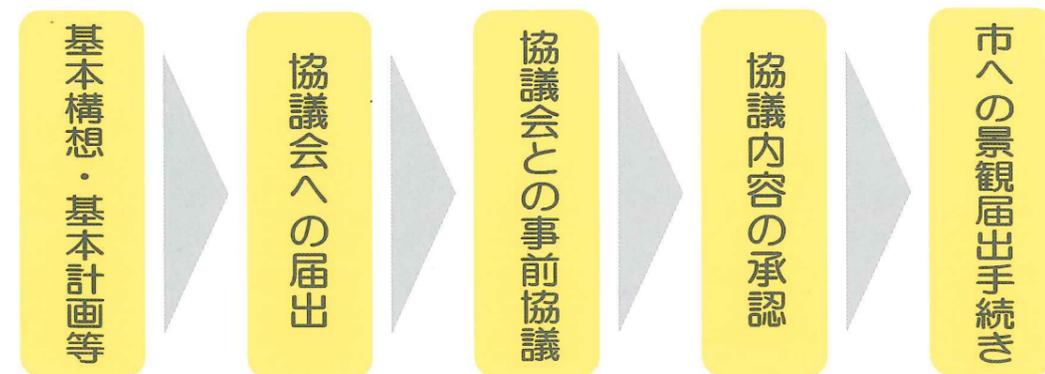
この冊子を活用し、創意・工夫にあふれたデザインにより、私達のまち南京町をより快適で個性的なまちにさせていただくことを願っています。

南京町沿道景観形成地区 景観計画附図



景観協議・届出の流れ

※ 建築物の新、増、改築や外壁意匠の変更、看板の新設、変更などについて、下記の通り手続きをお願いいたします。



まちづくりのテーマ

「活気ある都心商業地」「国際文化交流の場」といった、地区の様々な都市活動機能を相互に高めあい共生する、異国情緒豊かな「際立つ個性のまち」の育成

まちづくりの目標

- 「グルメ」が基本のまちづくり：多様な味覚の世界の展開にともなう多彩な異国文化とのふれあいのあるまち
- 「本物」志向のまちづくり：本格的で本物だけが持つ存在感のあるまち
- 「街」ごと楽しめるまちづくり：賑わいや異国情緒を活かした界隈性のあるまち
- 「もてなし」のまちづくり：ホスピタリティの感じられるまち
- 「クリーン」なまちづくり：清潔感を保ち、ごみを減らし、ルールを守るまち

まちづくりの方針

1. 環境の快適化：来街者が長く居続けることができる安全・安心で清潔なまちへの誘導を図る。
2. まちの修景・美化：道路環境の改善とともに景観形成基準等を周知徹底し、すっきりした活気ある街並み景観の維持向上を図る。
3. 情報発信できるまちに：イベント・フェア、組合員店舗、地区関連等の情報や、中国の最新情報を発信できる情報拠点をつくる。また、来街者とのよきコミュニケーターとして南京町コンシェルジュ（案内役）を育成する。
4. 魅力ある出店への誘導：一店一品必ず他に負けない個性ある商品を用意するなど、リピーターをつかむよう心がける。
5. 本物の食のまちに：観光客にも地元の人にも愛される中華街として、ぜいたくにお金を使っても、満足、納得のいく、「自家製」といえるにふさわしい食物の提供をしていく。
6. 店や来客のマナー向上：過剰な客引き、チラシ配布等の店舗側のマナー違反や、座り込みの飲食、ゴミの放置など客側のマナー違反の改善を図る。また、出たゴミの扱いなど食べ歩きを提供している側の店舗のモラル向上を図るとともに、店内飲食のスタイルに誘導していく。
7. 夜間のまちの魅力の増進：夜間営業の延長とともに、広場でのナイトマーケット等の開催等、夜間のまちの活性化を図る。
8. 放置対策と駐輪スペースの確保：従業員の自転車等は各自の店舗で駐輪スペースの設置、管理を行うのが本来であるが、まち全体として有料駐輪場の設置等の対策も図る。
9. 集客の向上：客層が若年化している現状に対して、神戸市の行政やツアー会社などと連携し、南京町をイメージアップすることで、まちのファンを増やす努力を行い、より広い年齢層（特に中高年層）の来訪を図る。

景観形成配慮事項（建築物等）

当地区で新たに計画される建築物や屋外広告物等に対して、景観形成に寄与するものとなるよう、計画をする上で配慮すべき事項を視点・指針のかたちでまとめています。

<建築物等> 3・4ページ

- 1 屋根・庇 : 美しく個性的なシルエットをつくる
- 2 外壁 : 明るく多彩な表情をつくる
- 3 一階の用途・形態 : 通りに賑わいと広がりを出す
- 4 付属物等 : 南京町らしい異国情緒や賑わいを高める
- 5 緑 : うるおいを増やすための創意工夫をする

<屋外広告物> 5ページ

- ・一体化
- ・色彩
- ・スカイライン
- ・規模
- ・装飾
- ・一時的
- ・文字
- ・照明

1 屋根・庇 : 美しく個性的なシルエットをつくる

特徴的な意匠を持った屋根や庇などをうまく組み合わせることによって、頂部を引き締め、南京町らしい個性的なスカイラインを形成するとともに、まちなみに陰影をつけ、親しみのある表情を演出したいものです



瓦屋根を設けることで、頂部を引き締め、重量感のある外観にすることができます。



反りのある庇を各階に繰り返し取り付けすることで、陰影のある個性的な景観にすることができます。



建物頂部をすっきりとデザインすることで、スカイラインを整った印象にすることができます。

2 外壁 : 明るく多彩な表情をつくる

伝統的な様式の特徴を生かした軸組みや、重量感のある壁面などを外観デザインに用いることにより、個性的で親しみのあるものにするとともに、明るく多彩な表情を持たせたいものです。



丸柱や梁、格子欄間など伝統的意匠の立面構成にすることで、異国情緒のある景観にすることができます。



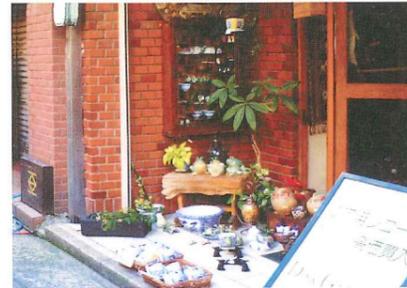
軒裏の垂木をモチーフに、全面に赤い格子のモダンデザインにすることで、個性的な外観にすることができます。



赤い枠取り、緑の扉、橙色の額などカラフルな部材を組み合わせることで、通りに多彩な印象を醸し出すことができます。

3 一階の用途・形態 : 通りに賑わいと広がりを出す

一階部分には、駐車場や倉庫などひと気の少ない施設を避け、飲食や雑貨など活気のある店舗を配置することで、通りに連続して南京町らしい賑わいを高めることができます。



通りに面して、質の高い工芸品を陳列したり、実演コーナーを置くことで、賑わいを高めることができます。



道路から後退した玄関部分に石像や緑を配置することで、潤いと広がりのある景観にすることができます。



閉店後もシャッター等で締め切らないことで、ショーウィンドウとして通りに賑わいを与えることができます。

4 付属物等 : 南京町らしい異国情緒や賑わいを高める

建物に付属する格子や手摺、レリーフなどを魅力ある点景として活用し、異国情緒や賑わいを高めて、生き生きとした雰囲気を出すとともに、見せたくない建築設備、仮設物などへの配慮がもたれられます。



窓周りや手摺のデザインを工夫することで、異国情緒を持った華やかなものにすることができます。



壁面に装飾的図柄やレリーフ、彫刻を組み込むことで異国情緒を効果的に演出することができます。



殺風景になりがちな工事中の仮囲いも南京町らしい修景を施すことで、賑わい感を持たせることができます。

5 緑 : うるおいを増やすための創意工夫をする

少しでも樹木や草花があるとやさしい感じになります。プランターの活用など通り景観を緑豊かなものにしていくよう、緑化を工夫していきませんか。



道路から後退した建物際にプランターを組み合わせることで、潤いのある景観にすることができます。



2階の窓際にプランターで飾花をすることで、親しみのある景観にすることができます。



壁面及び足元にハンギングポットや植樹で飾花しライトアップすることで、潤いのある景観にすることができます。



◀ 一体化

瓦葺の看板や建物部位のサイン化など建物との一体化を図りましょう

▶ 色彩

赤、緑など高彩度の色彩を効果的に使用し賑いのある異国情緒を演出しましょう



◀ スカイライン

電線共同溝整備による空への視界の広がり大切に、調和のとれたスカイラインを確保しましょう

▶ 規模

路地的街路空間の持つヒューマンスケールに配慮しましょう



◀ 装飾

龍や格子など、レリーフ、彫刻、絵と組み合わせて異国情緒を演出しましょう

▶ 一時的

旗や提灯など一時的なものも中華街にふさわしい活気を盛り上げましょう



◀ 文字

見えないロゴ、字体等の使用により異国情緒を演出しましょう

▶ 照明

サインの照明や電飾・ネオンなどによる個性的な夜景を演出しましょう



南京町沿道景観形成地区の景観形成方針・景観形成基準は神戸市ホームページでご確認ください。



https://www.city.kobe.lg.jp/a30028/shise/kekaku/jutakutoshikyoku/scene/10_keikankeikaku/402_nankinmachi.html